

エチレンセンター再編による ブタジエン（BD）バランスの変化

ZEON

日本ゼオン株式会社

2026年3月5日

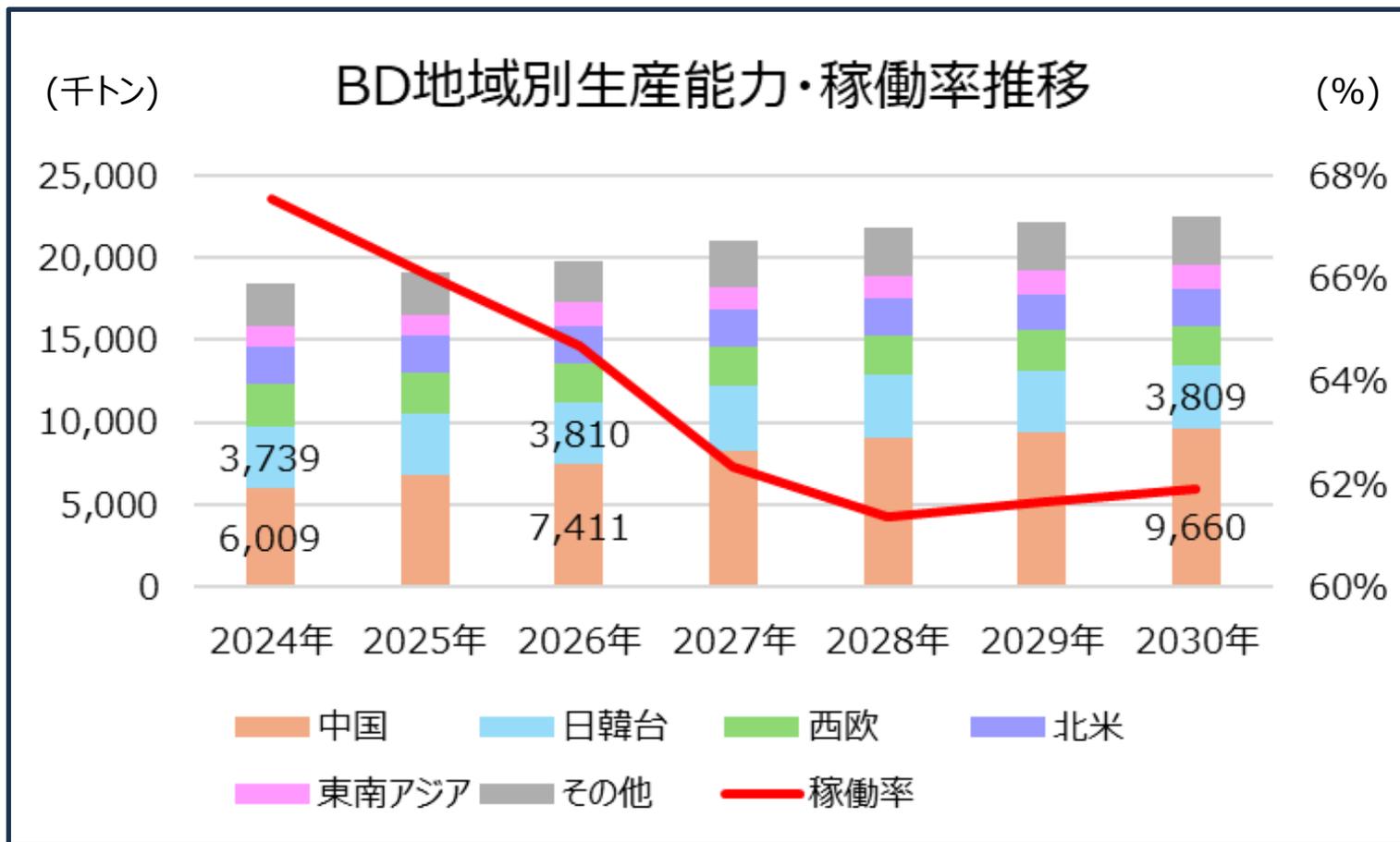
1. 本日本日お伝えしたいこと 当社の強み
2. 世界のBDバランス
3. 国内エチレンセンター再編について
4. 国内BD動向
5. 当社BDバランス

■ 当社の強み

- ・隣接するエチレンセンターからパイプラインで大半のC4を調達、自社設備（GPB）でBDを自製することで、安定生産、安定供給を両立
- ・徳山工場におけるBD誘導品の生産停止後は（※）、競争力ある自製BDを当社グループ会社で利活用
- ・国内エチレンセンター再編に伴い、将来BD需給バランスが崩れた場合は、BDの外部販売も検討
- ・日本国内で唯一、C4およびBDの外航船受け入れが可能な波方ターミナルのタンクを利活用することにより、C4、BDの戦略的なコントロールが可能

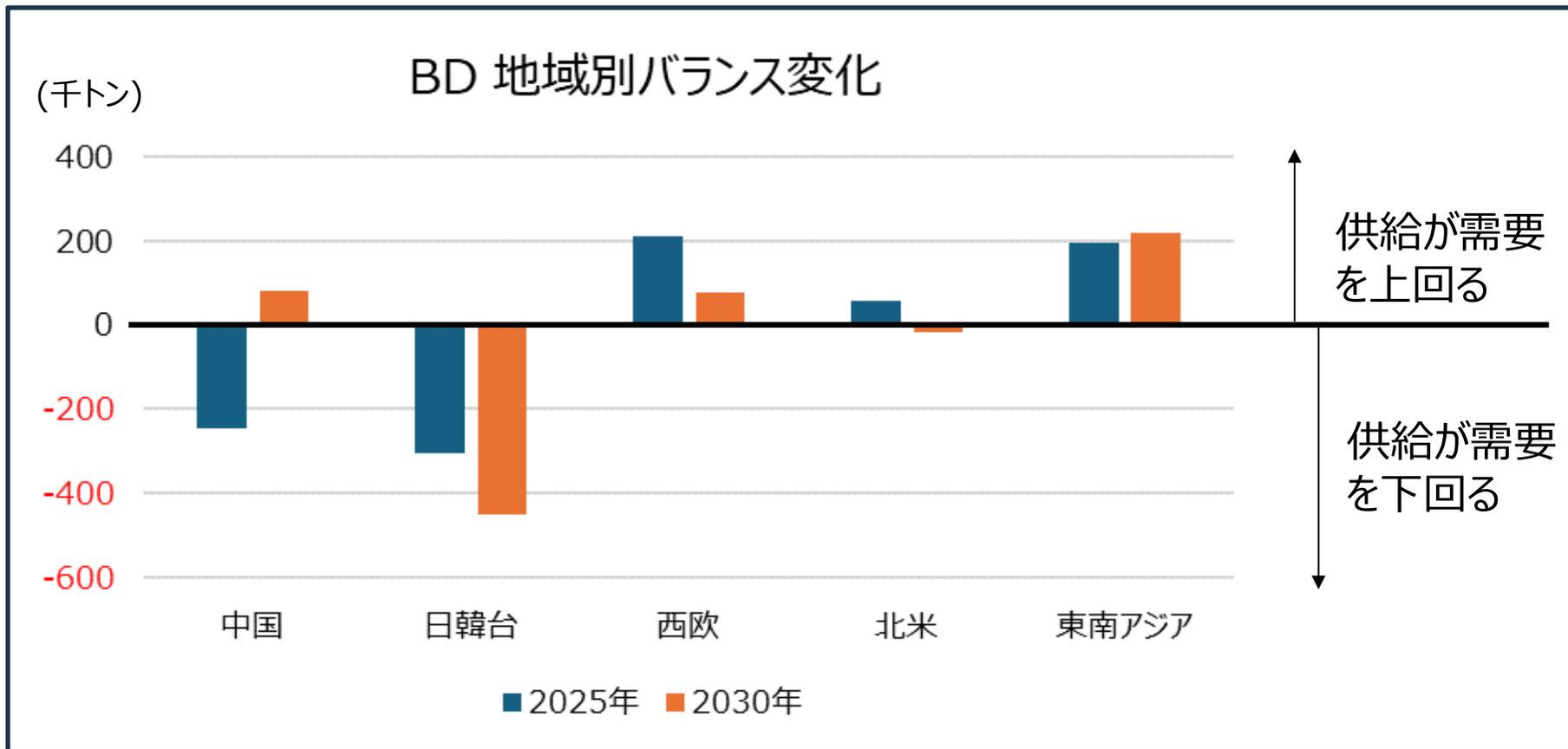
（※）2026年度停止予定：ESBR1系列、NBRラテックス
2028年度以降停止予定：COBR

BD生産能力は唯一中国のみ拡大



出典：Dow Jones2026年2月資料より当社にて作図

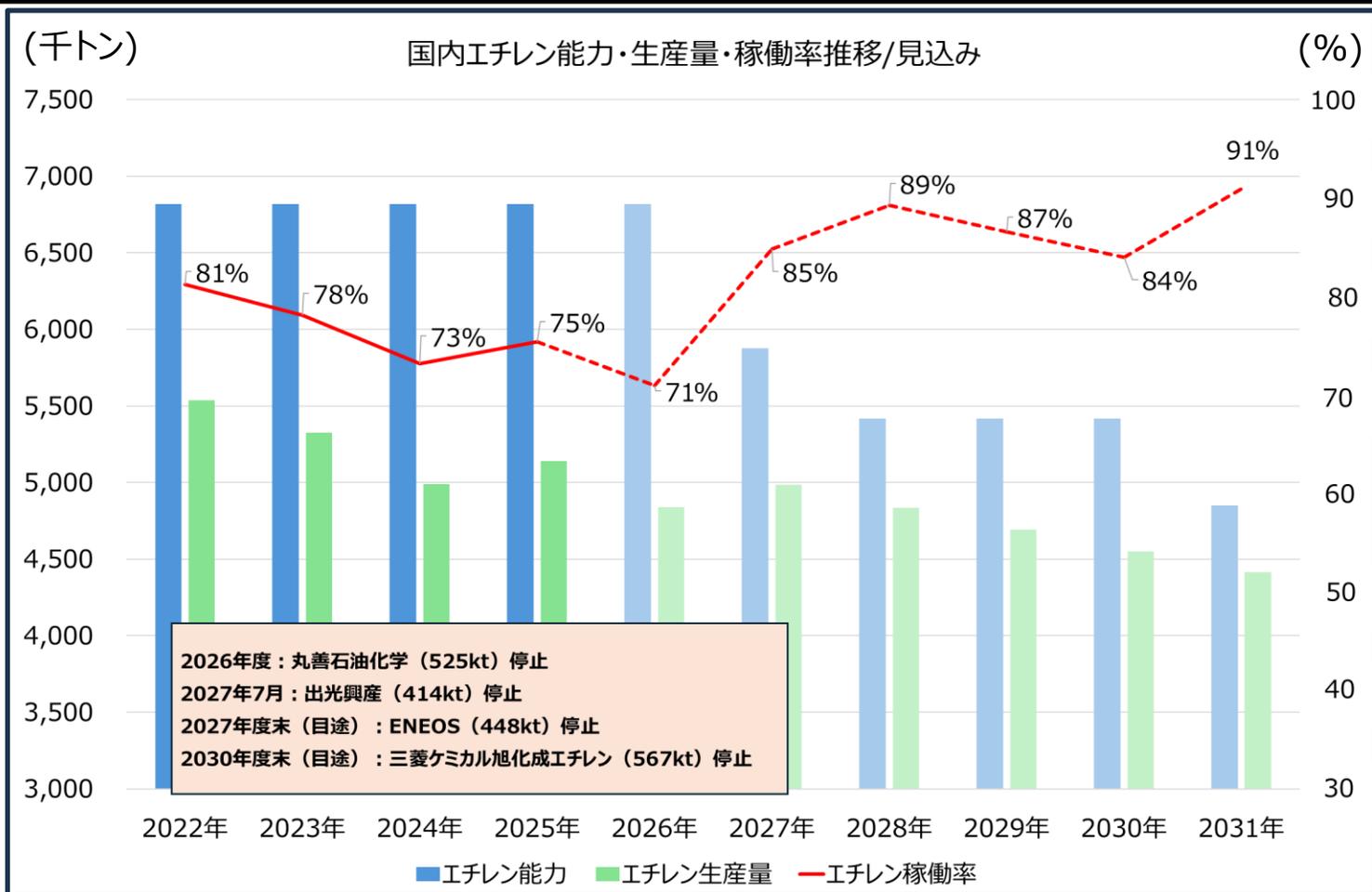
日韓台は供給不足、他地域からの輸入品に依存



出典：Dow Jones2026年2月資料より当社にて作図

3. 国内エチレンセンター再編について

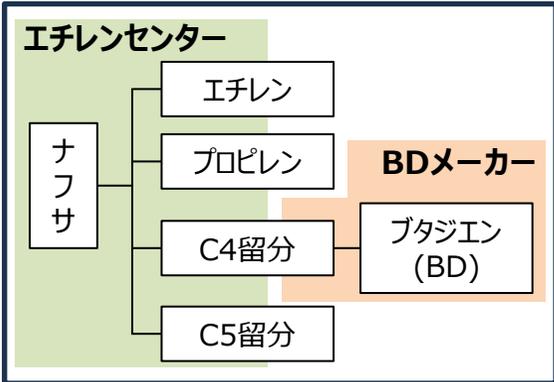
- ・丸善石化、出光興産（千葉）、ENEOS（川崎）、三菱ケミカル旭化成エチレン（水島）の4基が停止を発表
- ・2031年の国内エチレン能力は5,000千トンを下回り、生産量は4,400千トン/年レベルでの着地を予想、稼働率は91%まで回復する見込み



出典：
 ・国内エチレン能力・生産量・稼働率推移/見込みは当社調べ
 ・停止予定会社および停止時期は各社プレスリリースを参照
 ・停止量は重化学工業通信社『化学品ハンドブック2025』（重化学工業通信社、2025年）

4. 国内BD動向 ①エチレン/BD受給フロー

停止するエチレン装置に隣接するBD抽出設備は大幅に稼働が落ちる可能性あり



(数量単位：千トン)

BD抽出								
会社名	ENEOSマテリアル			千葉ブタジイン	ENEOS		岡山ブタジイン	日本ゼオン
場所	鹿島	千葉	四日市	千葉	川崎		水島	徳山
					浮島南	浮島北		
能力	120	130	148	175	81	115	157	180

エチレンセンター										
会社名	場所	エチレン能力								
三菱ケミカル	茨城/鹿島	564	○							
丸善石油化学	千葉	525				○(90)				
京葉エチレン	千葉	768				○(85)				
出光興産	千葉	414								○
三井化学	千葉	612		○						
ENEOS	川崎/浮島南	448					○			
ENEOS	川崎/浮島北	540						○		
東ソー	四日市	527			○					
三井化学	大阪	500								
三菱ケミカル旭化成エチレン	水島	567							○	
出光興産	周南	689								○
クラサスケミカル	大分	694								○

○供給

出典：重化学工業通信社『化学品ハンドブック2025』（重化学工業通信社、2025年）および当社調べ

- ・2030年時点の日本のBD抽出設備の稼働率は、C4不足で約5割まで低下すると予想されるが、当社は2025年並みの稼働を維持する計画
- ・岡山ブタジエンは当社のBDバランスに影響しないものの、三菱ケミカル旭化成エチレン停止により稼働低下の見込み

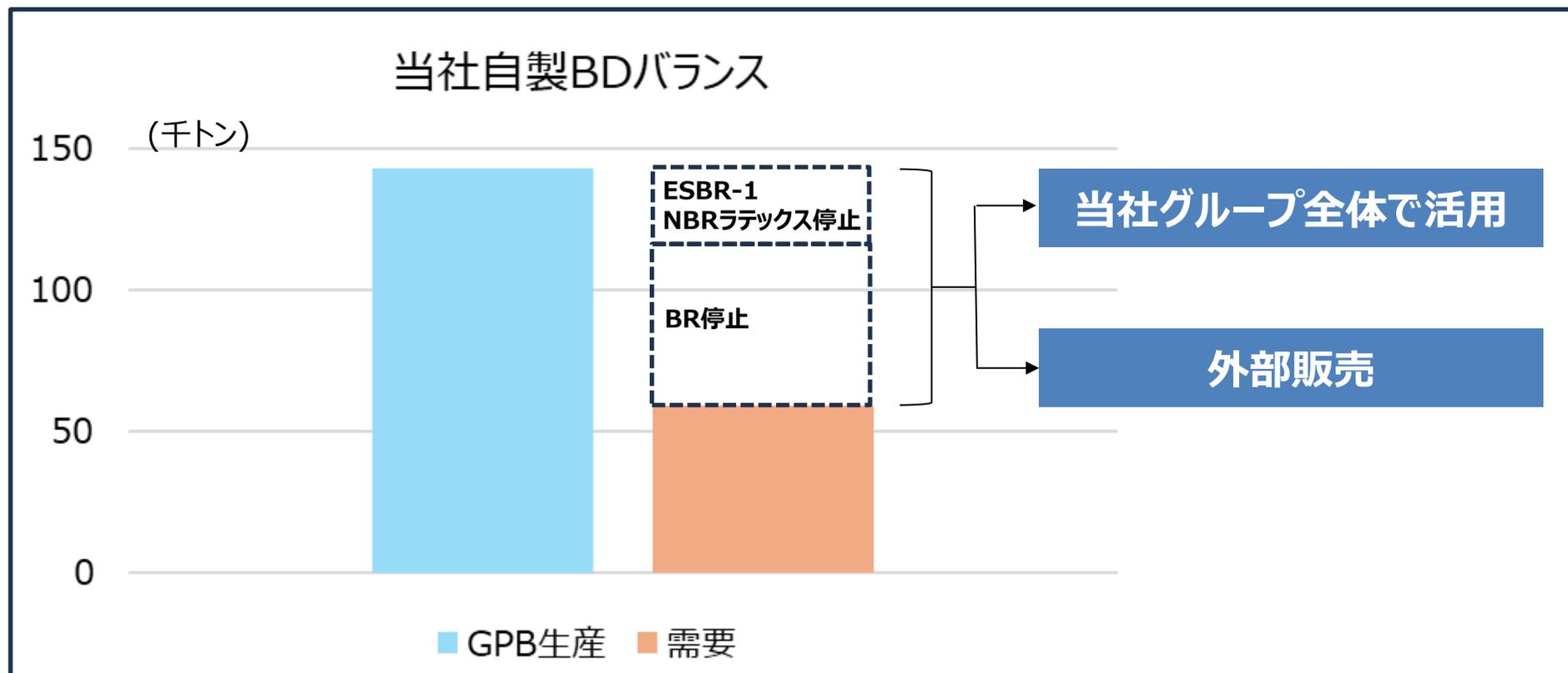
BD抽出稼働率見込み

会社名	場所	備考	能力 (千トン)	2025年 推定稼働率	2030年以降 推定稼働率	主なBD供給先
ENEOSマテリアル	鹿島		120	約6割	約7割	ENEOSマテリアル
	千葉		148	約7割	約5割	
	四日市		130	約6割	約6割	
千葉ブタジエン	千葉	丸善側	90	約7割	顕著なC4不足を予測	UBEエラストマー
		京葉側	85	約7割	約9割	
ENEOS	川崎	旧JX	81	約6割	顕著なC4不足を予測	旭化成、日本ゼオン等
		旧東燃	115	約6割	約6割	
岡山ブタジエン	水島		157	約5割	顕著なC4不足を予測	旭化成、三菱ケミカル
日本ゼオン	徳山		180	約8割	約8割	日本ゼオン
全体			1,106	約7割	約5割	

出典：BD抽出の各社情報、能力およびBD供給先は重化学工業通信社『2025年度版日本の石油化学工業』（重化学工業通信社、2024年）
稼働率は当社調べ

徳山工場におけるBD誘導品の一部停止を経て、自製BDは余剰ポジションへ

- ✓ 競争力ある自製BDを当社グループ全体で活用し、収益性向上と安定生産、安定供給を両立
- ✓ 将来にかけ国内BDがタイトになった場合は、自製BDの外部販売を検討



- ・BDが不足する場合は輸入、余剰の場合は輸出基地として機能
- ・C4の輸入受け入れも可能

<波方ターミナル概要>

会社名：波方ターミナル株式会社

所在地：愛媛県今治市波方町

株主構成：三菱商事(株)100%

タンク能力：

LPG 311,000KL(7基合計)

石油化学 30,000KL(3基合計)

石油製品 234,000KL(7基合計)

LPG国家備蓄基地 45万トン

当社借用タンクサイズ：10,000m³ (BDで6千トン)

出典：波方ターミナル株式会社ウェブサイト



以上

本資料における将来予測および推定値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の結果を保証するものではありません。実際の結果は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

項目	想定されるリスク
原料調達	輸入ナフサ減によるエチレンセンター稼働率低下
	C4、C5の調達減
ユーティリティ（用役）	原油価格上昇に伴うコスト増
製品出荷	海上輸送混乱による出荷遅延、物流費の高騰

今後の影響については精査中であり、大きな影響が見込まれる場合には改めて報告します

略称	日本語名称	英語名称
BD	ブタジエン	Butadiene
BR	ブタジエンゴム	Butadiene Rubber
ESBR	乳化重合スチレンブタジエンゴム	Emulsion Styrene Butadiene Rubber
NBR	ニトリルゴム	Acrylonitrile Butadiene Rubber

用語	意味
C4/C4留分	炭素数4の炭化水素混合物 ナフサを精製することで取り出せるさらに細かな留分
C5/C5留分	炭素数5の炭化水素混合物 ナフサを精製することで取り出せるさらに細かな留分
GPB	日本ゼオンの自社技術によって開発された、エチレン 生産の際に得られるC4留分から抽出蒸留によって 高純度のブタジエンを製造するプラント

- ・コスモエネルギーホールディングス株式会社、丸善石油化学株式会社、住友化学株式会社
「千葉地区エチレン生産最適化に関するお知らせ」（2025年4月1日）
https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/press/2025/250401-02/250401jp_02.pdf
- ・出光興産株式会社、三井化学株式会社DEF株式会社
「「千葉地区エチレン装置集約による生産最適化」の最終合意について」（2025年12月19日）
https://www.idemitsu.com/jp/news/2025/251219_1.pdf
- ・ENEOS株式会社
「当社石油化学製品の生産・供給体制の再構築について」（2025年2月26日）
https://www.eneos.co.jp/newsrelease/upload_pdf/20250226_01_01_0960492.pdf
- ・旭化成株式会社、三井化学株式会社、三菱ケミカル株式会社
「旭化成、三井化学、三菱ケミカル「令和7年度排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業」採択を受け西日本エチレン生産体制のグリーン化推進に向けた基本契約締結」
（2026年1月27日）
https://www.mcgc.com/news_release/pdf/02529/02777.pdf